

博通法師、紀伊国に行き、三穂の岩屋を見て

作る歌三首

三〇七番

はだすすき 久米の若子が いましける 三穂の
岩屋は 見れど飽かぬかも

三〇八番

常磐なす 岩屋は今も ありけれど 住みける人
そ 常なかりける

三〇九番

岩屋戸に 立てる松の木 汝を見れば 昔の人を
相見るごとし